


ふりがな 氏名	あおき やまと	都道府県	東京都	
	青木 大和			
所属/肩書	僕らの一步が日本を変える。／代表			
私の ESD活動	10代の政治意識を刺激するをモットーに掲げ、10代と政治の架け橋となる取り組みを行っている			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

私は、現在「僕らの一步が日本を変える。」という10代と政治への架け橋をモットーに掲げた団体を立ち上げ、代表をしております。2012年に立ち上げて活動をはじめ、約1年が立ちました。10代×政治という新たな領域を立ち上げ、活動することで多くの同年代などを巻き込み、これらが大手メディアなどで計50回以上取り上げられてきました。これらの私たちの活動は、大きくわけて3点あります。1点目は、「高校生100人×国会議員」という討論会です。全国から高校生100名を集め、実際に国会議事堂にて国会議員の方と1日かけて行う討論会です。実際に問題解決、問題発見を意識しながら最終的には政策提言を行うことまで行っております。この企画は、日本史上初の取り組みとして高く評価され、人脈などが一切無い中、高校生6名にて企画、立案、開催までを行いました。また偏ることなく中立的に開催し、国会議員の方には全政党から累積100名以上の国会議員の方に参加して頂きました。2点目は、「模擬選挙」です。模擬選挙とは、選挙権の無い私たち10代が実際に選挙を持ったと仮定して投票を行うことです。全国約20都市にて行い、合計1万票以上を集めることに成功しました。私たちは、既存の模擬選挙から発展させ、投票を行う過程においてiPadを導入することで多くの若者の投票を得る事ができ、過去最高の票数を集めることが出来ました。3点目は、「全国行脚」です。全国行脚は、全国を周りながら街頭に立ち、「もしあなたが内閣総理大臣になったら何がしたいですか？」という問いかけをし、それに対する思いをホワイトボードに書いてもらい、写真を撮りウェブにて配信しました。多くの若い世代の声を街頭から受け取り、ウェブに発信するというface to faceからソーシャルへ落とし込むという今までになかった取り組みを行っていきました。以上の3点が私たちが行ってきた活動です。

・僕らの一步が日本を変える。: <http://hgst-pw.tumblr.com/>

・僕らの一步が日本を変える。Facebook: <https://www.facebook.com/boku1.jp>

今後のESDの発展のために、若者はどのような役割を担えますか？

私たち若者の強みは、2点あると考えています。1点目は、現場で足を動かしながら学び、吸収し、発信出来る事だと考えています。私たち自身、高校生100人×国会議員などのイベントの中で多くの議員さんへ自身で足を運び話をし、想いを伝え協力してもらい巻き込んできました。その結果、世代を飛び越えて熟議出来る環境を整えることが出来ました。このような環境を整え、発信出来ることが僕らの世代の強みだと考えています。2点目は、ソーシャルネットワークを駆使して、世界をまたにかけて即時に繋がる事が出来る点です。SNSの発達により活動の発信や地方との情報格差が若い世代を中心に統一化されていると感じています。どこへいても情報を手にする事が出来、取捨選択を出来る時代であるからこそ意識を同じとする仲間に出会えることも私たちの大きな強みだと考えています。

以上の2点が私たちが担う事の出来る大きな役割だと考えています。